

株式会社 システムアート

社会学部人間心理学科

3年 森下 風花

1. 実習企業（団体）の概要

プログラマ育成に特化した IT スクール「J-school」の運営、IT 業界に特化した「人材紹介・派遣ビジネス」など、さまざまな事業を展開している。創業当初から技術者の研修制度をいち早く取り入れ、高い知識、社会人としてのビジネスマナー、組織における個々の果たすべき役割などを基礎からしっかり教育することで、技術者のスキルを均一化することに成功し、お客様から支持されている。

- ・設立 1988年7月24日
- ・資本金 1億円
- ・売上高 17億円（2015年7月期実績）
- ・従業員数 246人（2016年1月現在）
- ・所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 50階
- ・代表取締役 CEO 砂川 昇健

2. 実習内容

書類の整理、学校へ送る資料作り、企業が開いているスクールのパソコンの立ち上げ準備や資料作り、給料明細を名前順に並べる作業の手伝い。

3. 実習の成果

このインターンシップで、事務の本当の仕事内容、一日の仕事量、やるべきこと、会社での位置づけ、実際の出勤時間、様々な事を自分の目で見て確かめることができました。また面接に同席させていただき、企業側が面接において何を重要視しているのか、どのような人材を求めているのかを拝見させていただき、その後、面接官と私でお話しさせていただき機会を設けていただき、面接でのポイント、注意すべき点を教えていただく事が出来ました。初めて企業に携わって思ったことは、やりがい、人間関係が大切だと強く感じました。やりがいとは、仕事を行う上で達成感を感じる事が重要であるところの体験を通じて感じました。人間関係においては、今回の企業の皆様は優しく教えてください、また食事にも連れて行ってくださいました。人間関係がうまくいかないと、息が詰まりやる気をなくし仕事に影響が出てくるのではないかと思います。これらを踏まえて、今まで文字だけで見っていた営業事務と、体験する営業事務は全然違うものだと感じました。今まで事務作業は簡単だと思っていましたが、責任のある仕事ばかりでとても大変であり、先を考え、頭を使う仕事だとこのインターンシップで学びました。

4. 実習の感想

実際にインターンシップに参加をして、学生であり社員ではないため、機密情報の管理、責任のある重要な仕事は任せられませんが、それ以外で実際に行っている仕事を手伝わせていただきました。自分に向いている職業だと思っていた営業事務でしたが、実際行ってみるとずっと座って淡々と仕事を行う事務は向いていないと感じました。社会に出る前にインターンシップで会社の雰囲気、仕事内容、実際に体験することは非常に大切なことだと思いました。また実際に内定した人の面接内容等を拝見させていただき、今から就活で役に立つことばかりでとても勉強になりました。また面接官に直接お話を聞く機会を設けていただきこれからの面接に役立てたいと思いました。今回のインターンシップで営業事務は自分には向いていないことが分かり、業界、企業研究等大変なことは続くと思いますが、このインターンシップで経験した様々な事を糧に頑張りたいと思いました。

日数	実習日	実習内容
1日目	2月13日(月)	学校へ送る資料作り、求人票づくり
2日目	2月14日(火)	給料明細の整理、会社員の住所入力、封筒作り
3日目	2月15日(水)	会社員の住所入力、学校へ送る資料の住所調べまた記入、面接参加
4日目	2月16日(木)	スクールのためのパソコン立ち上げ住所入力、求人票
5日目	2月17日(金)	注文票の整理、求人票づくり、面接参加